

憲法変えるな 政治を変えよう



「いいね！日本国憲法—平和といのちと人権を！5・3憲法集会」に5万5千人が声援＝5月3日、東京都江東区

安倍首相が 改憲宣言

「9条に自衛隊を明記」って
ただ書き加えるだけなの？



「憲法9条に自衛隊を明記し、オリンピック開催の2020年に施行」—期限を切って改憲を宣言した安倍首相。憲法に自衛隊の存在を書き加えるだけにとどまらない大きな狙いが潜んでいます。特定

秘密保護法、集団的自衛権容認の閣議決定、安保法制Ⅱ戦争法、共謀罪、そして憲法9条改憲……安倍自公政権のこの間の暴走は、「海外で戦争する国」がゴールなのです。

狙いは「戦争する国」へつくりかえ

●海外で武力行使を無制限に

安倍首相はこれまで、自衛隊を海外に派遣してきました。それでも、イラク戦争やアフガン戦争のような武力行使を目的にした戦闘には参加できない制約、制限がありました。

憲法9条2項（「戦力不保持」）があるからです。

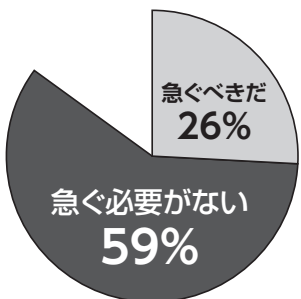
もし、憲法9条に自衛隊の存在理由などを書き加えたら……9条2項は空文化し、海外での無制限の武力行使が可能となります。

シナリオは「改憲右翼団体」「日本会議」

●戦力不保持を空文化

首相の9条改憲発言は、改憲派団体の集会へビデオメッセージとして寄せられたもの。改憲右翼団体「日本会議」ブレインが9条に自衛隊を明記する改憲論を発表し、それにこたえたものです。国会では改憲の身について答弁拒否しながら、「日本会議」を優先する首相の態度はとんでもありません。

「速やかに九条二項を削除するか、あるいは自衛隊を明記した第三項を加えて二項を空文化させるべき」
（小坂実・日本政策研究センター研究部長・『明日への選択』昨年11月号）
*日本政策研究センター代表は日本会議の政策委員。



「朝日」5月22日

2020年改憲
「不要」59%

「安倍政権のもとでの憲法改憲に反対」で、野党4党（共産・民進・自由・社民）が合意しています。野党と市民が結束して9条改憲をはねかえしましょう。

日本国憲法は、恒久平和主義の第9条や、30条にわたる豊かで先駆的な人権条項が盛り込まれています。憲法の全条項を守り、いかす政治を、日本共産党はめざします。

改憲をあとおし——公明・維新

●「安倍首相は意欲的な提案をした。…国民の理解を伴って合意がつけられることが望ましい」(公明・山口代表、5月3日街頭演説)

●「(改憲の)先兵として戦っていく役割を担いたい」(維新・小沢党憲法改正推進委員会会長・5月6日「毎日」)

日本共産党